

第136期

中間報告書

(平成30年10月1日から)
(平成31年3月31日まで)

ホウライ株式会社

— 会 社 の 概 要 —

設 立	昭和3年1月16日
資 本 金	43億4,055万円
本 店	東京都中央区銀座六丁目14番5号
従 業 員 数	193名 (平成31年3月31日現在)

株主の皆様へ

代表取締役社長 谷澤 文彦

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は平成31年3月31日をもって第136期第2四半期の決算を行いましたので、その概況をご報告申し上げます。

営業の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善に足踏みがみられるものの、雇用・所得環境の改善が続くとともに、個人消費も持ち直しの動きが継続する等、景気は緩やかな回復基調で推移しました。ただし、米中貿易摩擦の動向、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社は各事業がそれぞれの特性に応じた施策の推進に努めました。営業収益は、千本松牧場、ゴルフ事業は前年同期を上回り、保険事業、不動産事業は前年同期を下回りましたが、全体では前年同期比増収となりました。営業総利益は、不動産事業、ゴルフ事業は増益となり、保険事業、千本松牧場は減益となりましたが、全体では前年同期比増益となりました。一般管理費は法人事業税の外形標準課税部分の増加を主因に前年同期を上回りましたが、営業損失は前年同期比改善しました。

当第2四半期累計期間の経営成績は、営業収益が2,493百万円（前年同期比51百万円増）、営業総利益は309百万円（前年同期比16百万円増）、一般管理費は319百万円（前年同期比13百万円増）となり、営業損失は10百万円（前年同期は営業損失13百万円）となりました。営業外収益にゴルフ会員権消却益69百万円（前年同期比13百万円増）を計上したことを主因に、経常利益は75百万円（前年同期比16百万円増）となりました。銀座ホウライビルの譲渡による固定資産売却益5,324百万円を特別利益に計上するとともに、代替資産取得に備えた圧縮未決算特別勘定への繰入額4,240百万円を特別損失に計上したこと等から四半期純利益は781百万円（前年同期比716百万円増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

① 保険事業

お客様とのリレーションを強化し、リスク分析に基づくそれぞれのニーズに応じた保険商品の提案を行うコンサルティング営業を推進しました。営業収益は、生命保険分野は法人契約の新規成約を主因に前年同期を上回りましたが、損害保険分野は前年同期に大口火災保険契約を長期で

更改したことによる反動減の影響が大きかったことから前年同期を下回り、全体で596百万円(前年同期比4百万円減)となりました。

営業原価は、営業体制強化のための増員による人件費増により前年同期を上回り、営業総利益は237百万円(前年同期比18百万円減)となりました。

② 不動産事業

銀座ホウライビルの譲渡に伴う賃料収入の減少を主因に営業収益は769百万円(前年同期比10百万円減)となりました。営業原価は池袋室町ビルの大型改修工事関連の経費がなくなったことに加え、銀座ホウライビル関連の経費の減少もあり前年同期を下回り、営業総利益は279百万円(前年同期比27百万円増)となりました。

③ 千本松牧場

秋の行楽シーズンははじめ春休みシーズンにいたるまで、各種企画やイベントの開催、旅行会社・近隣観光施設との連携強化、各種メディア露出を活用した広告宣伝等により、多くのお客様にご来場いただけるように努めました。天候にも恵まれ、ご来場者数は前年同期を上回り、食堂・売店・アミューズメント等直販サービス部門の売上は前年同期比増収となりました。営業推進部門は、量販店等の既存お取引先への乳製品等の販売が安定的に推移し、売上は前年同期並みとなりました。酪農部門は、夏の酷暑影響や秋以降の寒暖差等により、牛のコンディションが悪化しましたが、飼養環境の整備により1頭あたりの搾乳量の増加に努めました。生乳販売量は減少しましたが、子牛販売量が好調に推移し、売上は前年同期比増収となりました。

この結果、営業収益は部門全体では837百万円(前年同期比45百万円増)となりました。資材の見直し等による原価改善に努めましたが、営業原価は、増収等による売上原価の増加に加え、大手運送会社の配送料の値上げを主因とした経費の増加により前年同期を上回り、営業総損失は92百万円(前年同期比4百万円悪化)となりました。

④ ゴルフ事業

男子プロのサードフォリファイングトーナメントの開催、プロテスト一次予選等の各種競技会誘致や、テレビ放映等のメディアを活用した広報により、引き続き「戦略的なチャンピオンコース」としての認知度向上に積極的に取り組みました。また、多彩なコンペ企画の実施や、大口コンペ誘致に向けた営業を強化することで、ご来場者の増加に努めるとともに、レストランメニューや売店の品揃えの改善を進め、収益の増強を図りました。

この結果、ご来場者数は前年同期を上回り、営業収益は289百万円(前年同期比21百万円増)となりました。営業原価は、コストコントロールの徹底で経費圧縮に努めましたが、人件費や設備更新に伴う減価償却費の増加を主因に前年同期を上回り、営業総損失は116百万円(前年同期比11百万円改善)となりました。

事業別営業収益

(百万円未満切捨)

期 別 事 業	前第2四半期累計期間 (平成29.10.1～ 平成30.3.31)		当第2四半期累計期間 (平成30.10.1～ 平成31.3.31)		増	減	前事業年度 (平成29.10.1～ 平成30.9.30)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	金 額	構 成 比	
	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円	%	
保 険 事 業	600	24.6	596	23.9	△4	1,131	21.2	
不 動 産 事 業	779	31.9	769	30.9	△10	1,562	29.3	
千 本 松 牧 場	792	32.5	837	33.6	45	1,895	35.5	
ゴ ル フ 事 業	268	11.0	289	11.6	21	746	14.0	
合 計	2,441	100.0	2,493	100.0	51	5,335	100.0	

(注) 品目及び数量については、種類が多く、その表示が困難なため記載は省略いたしました。

営業成績及び財産の状況の推移

(百万円未満切捨)

区 分	期 別	前第2四半期累計期間 (平成29.10.1～ 平成30.3.31)	当第2四半期累計期間 (平成30.10.1～ 平成31.3.31)	増	減	前事業年度 (平成29.10.1～ 平成30.9.30)
営 業 収 益(百万円)		2,441	2,493		51	5,335
経 常 利 益(百万円)		58	75		16	431
四半期(当期)純利益(百万円)		64	781		716	342
1株当たり四半期(当期)純利益(円)		46.01	559.44		513.43	245.02
総 資 産(百万円)		17,156	22,349		5,192	17,963
純 資 産(百万円)		7,322	8,316		993	7,625

(注) 1株当たり四半期(当期)純利益は、平均発行済株式総数により算出しております。

四半期貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
【流 動 資 産】	[9,290,074]	【流 動 負 債】	[5,391,408]
現金及び預金	8,691,918	買掛金	80,744
受取手形及び売掛金	356,288	未払法人税等	379,878
たな卸資産	183,770	引当金	52,790
その他	58,455	圧縮未決算特別勘定	4,283,917
貸倒引当金	△358	その他	594,076
【固 定 資 産】	[13,059,108]	【固 定 負 債】	[8,641,639]
(有 形 固 定 資 産)	(12,052,730)	長期預り保証金	8,147,330
建物	2,659,405	引当金	128,103
土地	6,924,010	資産除去債務	118,088
その他	2,469,314	その他	248,116
(無 形 固 定 資 産)	(44,241)	負 債 の 部 合 計	14,033,047
(投 資 そ の 他 の 資 産)	(962,135)	(純 資 産 の 部)	
その他	985,135	【株 主 資 本】	[8,222,093]
貸倒引当金	△23,000	資本金	4,340,550
資 産 の 部 合 計	22,349,182	資本剰余金	527,052
		利益剰余金	3,372,940
		自己株式	△18,450
		【評 価 ・ 換 算 差 額 等】	[94,041]
		その他有価証券評価差額金	94,041
		純 資 産 の 部 合 計	8,316,135
		負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	22,349,182

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期損益計算書

(自 平成30年10月1日)
(至 平成31年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額
(経常損益の部)	
【営業損益の部】	
営 業 収 益	2,493,865
営 業 原 価	2,184,545
一 般 管 理 費	319,804
営 業 利 益	△10,485
【営業外損益の部】	
営 業 外 収 益	86,245
営 業 外 費 用	724
経 常 利 益	75,035
(特別損益の部)	
特 別 利 益	5,324,684
特 別 損 失	4,290,947
税 引 前 四 半 期 純 利 益	1,108,773
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	347,318
法 人 税 等 調 整 額	△19,774
四 半 期 純 利 益	781,229

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

株式の状況

(平成31年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 3,720,000株
- (2) 発行済株式の総数 1,404,000株
- (3) 当中間期末株主数 931名 (前期末比143名減)
- (4) 大株主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
室 町 ビ ル サ ー ビ ス 株 式 会 社	178,100株	12.75%
室 町 殖 産 株 式 会 社	99,100	7.09
株 式 会 社 帝 国 倉 庫	90,120	6.45
株 式 会 社 ケ イ エ ム コ ー ポ	70,000	5.01
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	69,400	4.96
ホ ウ ラ イ 従 業 員 持 株 会	54,160	3.87
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD - HONG KONG PRIVATE BANKING DIVISION-CLIENT ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	38,900	2.78
三 井 住 友 海 上 火 災 保 険 株 式 会 社	36,000	2.57
日 本 生 命 保 険 相 互 会 社	30,000	2.14
三 井 松 島 ホ ー ル デ ィ ン グ ス 株 式 会 社	30,000	2.14

(注) 持株比率は自己名義株式 (7,566株) を控除して計算しております。

取締役及び監査役

(平成31年3月31日現在)

代表取締役社長 兼社長執行役員	谷 澤 文 彦
取 締 役 兼専務執行役員	森 禄 弘
取 締 役 兼専務執行役員	林 周 毅
取 締 役 兼常務執行役員	萩 尾 哲 也
取 締 役 兼常務執行役員	増 田 雄 一
取 締 役 兼執行役員	上 田 良 英
取 締 役 兼執行役員	藤 本 敦
取 締 役 兼執行役員	畑 秀 行
社 外 取 締 役	柴 田 征 範
常 勤 監 査 役	千 葉 正 裕
常 勤 監 査 役	斎 藤 淳 一
社 外 監 査 役	渡 辺 知 行
社 外 監 査 役	藤 川 隆 夫

株式事務の取扱について

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会 毎年9月30日 期末配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
・住所変更、配当金受取方法の指定、単元未満株式の買取等のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行へお申し出ください。	
・未払配当金の支払について 株主名簿管理人である三井住友信託銀行へお申し出ください。	

メ モ

A series of 18 horizontal dashed lines for writing.